

四万十の流れのように生きて死ぬ

いのちの終わりを自然に受け入れるためのヒント

大野内科理事長

小笠原 望

四六判並製 224頁

(本文写真入り)

本体 1,500円

注 文

(番線印)

(発注者 様)

部 数

冊

がん、認知症、介護、在宅医療、看取り……

著者渾身の書下ろし

病を包み込み、老いと向き合う「田舎医者」のあたたかなまなざし

目次

- 第一章 **簡単に死なせてくれない** 死への流れに乗るとは？
- 第二章 **痛みに寄り添って** 終末期の癌 認知症について知る
- 第三章 **介護と家族** ぼくが患者さんの通夜、葬儀に行く理由 / 手抜き介護・疲れたら優しくなれません
- 第四章 **なじみの場所で** 家に帰ると痛みがなくなる癌患者さん
- 第五章 **看取りと仕舞い** 終末期の薬との付き合い—在宅医療において—
- 第六章 **自然の中で生きて** 四万十に来て変わった ひとのいのちも自然のなかのもの



小笠原望 大野内科理事長

四万十の
流れのように
生きて死ぬ

いのちの終わりを
自然に受け入れるためのヒント



死ぬときは
優しい医者にあいたいね



がん、認知症、介護、在宅医療、看取り…
病を包み込み、老いと向き合う
「田舎医者」のあたたかなまなざし。

渾身の書き下ろし!

書影

小笠原 望(おがさわら・のぞみ) 1951年高知県土佐市生まれ。76年弘前大学医学部卒業。高松赤十字病院などを経て97年大野内科(四万十市)勤務。2000年同院長、2018年同理事長就任。外来診療に加え、かかりつけ医として在宅医療で地域医療を支える。「四万十のゲリラ医者」として活動。患者だけでなく、地域住民を対象に2010年からはじめた「健康教室」が人気。趣味は川柳で受賞歴多数。著書に朝日新聞社「スタイルアサヒ」連載をまとめた『診療所の窓辺から』(ナカニシヤ出版)、高知新聞や医学雑誌連載をまとめた『いのちの仕舞い—四万十のゲリラ医者走る!』(春陽堂書店)などがある。



ご注文・お問い合わせは下記までお願いいたします。 清流出版 営業部

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-7-1 TEL 03(3288)5405 FAX 03(3288)5340

小笠原望著 清流出版 本体1,500円
ISBN 978-4-86029-506-6

『四万十の流れのように生きて死ぬ』
いのちの終わりを自然に受け入れるためのヒント